





# 令和6年 能登半島地震への対応



茨木市では、令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震の被災地に対し、大阪府や他市町村と連携のもと、緊急消防援助隊や応急危険度判定士をはじめ、給水や避難所運営の支援のための職員派遣などを行っています。また、市営住宅の提供や罹災証明書の申請支援、介護サービス利用料の減免など、茨木市への避難者等を対象とした支援も行っています。今回、避難所運営支援のため石川県輪島市に派遣されました茨木市危機管理課職員にお話を伺いましたので紹介します。



火災で焼失した輪島市の朝市通り

1月28日(日)から2月4日(日)までの間、巨大地震の爪痕が残る輪島市に、大阪府の災害支援チームの一員として、輪島中学校の避難所運営支援に参加してまいりました。



主要道路であるのと里山海道

今回の地震により、石川県でお亡くなりになった方の半数近くは輪島市の方で、その死因は、建物倒壊による圧死や輪島朝市で発生した火災によるものです。

現地はテレビや新聞等で見るとはるかに凄惨な状況で、輪島市内に近づくほど道路や橋の損傷、そして多くの木造家屋の倒壊や屋根にかけられたブルーシートを目の当たりにして胸が張り裂ける思いでたまりませんでした。

輪島中学校の避難所では、発災当初は約900名の方々が避難されてきたと聞いておりましたが、私が支援させていただいた時点では約400名の方々が体育館や教室などで避難所生活を余儀なくされておりました。

避難所では水道が一部しか供給できておらず、食事やトイレ、そして入浴に不便をきたしておられましたが、自衛隊による炊き出しや野外風呂の開設により、先の見えない避難所生活の中でもひと時のやすらぎを感じておられる様子でした。

われわれ支援チームは、被災された方々が少しでも避難所生活を快適に過ごせるよう避難されている方に寄り添うとともに、生活環境の改善に努力してまいりました。

今後の復旧・復興については決して容易ではないかもしれませんが、皆さんが力を合わせ、早期の復旧・復興を祈念する次第です。

今後30年以内に70~80%の確率で発生する可能性があると言われていた南海トラフ地震が起きた場合、多くの方が被災し怪我等をされることが予測されています。

皆さんも今回の能登半島地震を他人事としてとらえることなく、自助・共助として平素から非常食や飲料水などをご家庭で備蓄するとともに、いざ発災したときには隣近所で助け合えるよう地域コミュニティとしてとるべき行動をイメージしていただき、来るべき時に備えておくことが重要だと思いました。



輪島中学校の体育館の段ボールハウス

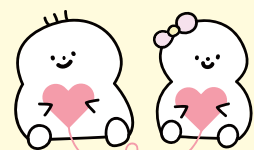


輪島中学校の教室での避難所生活

## ~茨木市自治会連合会の取組~

このたびの令和6年能登半島地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

茨木市自治会連合会では、被災地の復旧・復興にお役立ていただくため、日本赤十字社を通じて10万円の災害義援金を寄付いたしました。被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。



# 三島防災だいさくせんが実施されました!

令和5年11月19日(日)に三島地区の防災訓練「三島防災だいさくせん〜8つのミッションをクリアしお宝をゲットしよう!〜」が三島小学校と三島公園において実施されました。今回の防災訓練では、茨木市が実施する「まちづくり検討会議」を活用し、「若い世代が興味を持ち、参加したくなるような訓練」を目指して、企画段階から市内大学に通う大学生が参画し、学生と地域と一緒に防災訓練を実施しました。

防災訓練では、「VRゴーグルを使った防災体験」や「足元が悪いところを歩く体験」「かまどベンチの使い方」など学生のアイデアが取り入れられた訓練も実施されました。

今回、学生と地域の連携によって、これまでになかったゲーム感覚で楽しめる訓練を企画した結果、当日は、三島地区や近隣の庄栄地区の住民の方約160名が参加され、例年に比べて、こどもの参加が非常に多く、親子連れの方も多くみられました。

活動にご協力いただいた地域の方からは、「訓練当日は、30・40代の家族連れが参加者の半数を占め、目標を達成することが出来ました。『楽しかった』との声が多数あり、これからの防災訓練の開催方法を考えさせられる行事となった」というお声がありました。



VRゴーグルを使った防災体験の様子



足元が悪いところを歩く体験

## 自治会等表彰式・感謝状贈呈式が行われました

茨木市では、令和元年度より自治会等の役員の方々をはじめ、自治会活動などの発展に寄与された地域住民、地域の企業、NPOや各種団体などの方々を対象として、改めて感謝の意をお伝えするため、自治会等表彰制度を創設しております。

令和5年10月27日(金)に茨木市役所南館10階で表彰式を行いました。

地区連合自治会長、地域自治組織の代表者から推薦があり、「功労表彰」を21人、「感謝状」を7人の方が受賞されました。今年度は、三島、中条、玉櫛、安威、福井、東、水尾、郡山、庄栄、畑田、東奈良の11校区から推薦をいただきました。

功労表彰は、自治会や地域自治組織等の役員を2年以上担っておられる方、もしくは、担っておられた方、また、自治会活動等の担い手として、5年以上ご協力いただいている方が対象です。

感謝状は、自治会活動等の発展に寄与し、その功績が特に顕著である方や、企業、NPO、各種団体で、地域自治組織等を構成する団体として参画し、かつ、2年以上積極的に参加されている団体、さらに、地域自治組織や自治会等が実施する活動に対して、5年以上協賛、協力していただいている団体が対象です。



## ICT出前講座受講後の感想を伺いました

茨木市では、令和5年度より自治会活動にICTを取り入れ、活動の更なる活性化を図っていただくとともに、自治会役員の負担軽減の一助としていただくため、単位自治会、連合自治会を対象にICT出前講座を実施しております。今回は受講者の方に感想を伺いました。

三島地区連合自治会  
大島会長

三島校区の連合自治会等の役員を対象に、役員会の開催、行事連絡、日程の調整など役員間グループづくりが進めば便利になると思い「LINE講座」を申し込みました。

6年前の大阪北部地震の時の教訓から連絡網構築の必要性を感じていましたのでいい機会になりました。

受講者が希望するテーマに沿って双方向での質問形式で進められ、参加者全員が満足度90%でスキルアップすることができました(あと10%は時間が足りなかった)。最後に「裏ワザ」として音声入力で作成する体験では「オー！」と歓声が上ががり、大いに盛り上がりました。



郡山二丁目自治会  
山本会長

郡山二丁目自治会は世帯数351、若い方もそこそこ、特に高齢者も多く自治会活動にICTを利用して将来組長さんや、役員さんの仕事の軽減を図っていきたく思っていた所、市からのICT講座案内があり、まずはLINE講座から自治会公式LINEを作成して、案内、伝達したいと考えました。徐々にLINE友達が増えてきて、半年経過した現在約110人の友達が出来ました。毎月の定例会資料、イレギュラーな回覧、案内、防災防犯等、最新情報を早く伝達する事で、自治会員の皆さまも、「いいね」「情報ありがとう」と、良い評価を頂いております。当面はLINEと紙ベースの二刀流で行ってまいります。課題も色々ありますが、まずは友達を増やす仕組みを検討しながら、早期に300人まで友達を増やし、ICTを利用した自治会活動を構築したいと考えます。

## 自治会長説明会を開催します

令和6年度自治会長説明会を4月26日(金/19:00~)と4月29日(月・祝/10:00~)におにクル・きたしんホールにて実施します。

この説明会は、平成23年度から実施しているもので、自治会長の1年間のおおまかなスケジュールや市との関係についてお話します。**新任に限らず**ご参加いただくことができます。

詳細につきましては、3月15日(金)発送の市からの自治会長宛送付文書をご参照ください。



昨年の自治会長説明会の様子

## 自治会加入促進について

茨木市自治会連合会では、「自治会加入促進チラシ」(A4版)、「自治会ハンドブック」(冊子)、「自治会ハンドブック概要版」(冊子)を作成しております。各自治会で未加入世帯に加入案内される時に是非ご活用下さい。自治会加入促進チラシについては、英語版、中国語版、韓国語版もございますので、こちらも併せてご活用下さい。

ご希望の場合は、地域コミュニティ課(茨木市自治会連合会事務局：市役所本館2階10-①番窓口)までご連絡もしくはお越しください。

☎072-620-1604(直通)



## 回覧板の配布 有料

茨木市自治会連合会で作成しております回覧板を1枚200円で配付しております。

配付枚数の上限は、**各自治会の班数×2まで**でお願いします。

地域コミュニティ課(自治会連合会事務局：市役所本館2階10-①番窓口)まで現金を持って取りに来ていただきますようお願いいたします。

